

2019
2
No.173

文化財防火デー
誕生寺での放水の様子
(関連記事 P8)

主な内容

- P2～3 平成31年成人式
- P4～5 叙勲・褒章を受章された皆さん
- P6～9 まちのできごと
- P12 東京2020オリパラ大会
- P13 いきいき茨城ゆめ国体



平成31年常陸大宮市成人式

1月13日、市文化センターで成人式が開催され、新成人たちが大人としての新たな一歩を踏み出しました。

今年の成人者は、平成10年4月2日から平成11年4月1日までの間に生まれた、市内在住者や出身者が対象で、337人が出席しました。

皆さんが本市を誇りに思い、故郷にいても遠くにいても常陸大宮市を大事に思う気持ちを忘れず、夢や希望を持って社会で力強く歩み続けてくれることを期待しています。



▲司会の軍司優花さん



岸 浩樹さん



▲開式のことば
矢野沙也加さん



▲舟木春香さんの
伴奏で国歌斉唱



▲委員長あいさつ
仲田 駿さん



▲成人者を代表して記念品を
受け取った立原蒼生さん



▲はたちの主張を発表した佐藤美咲さん
江原勇樹さん



▲閉式のことば
皆川美里さん

式典を支えた実行委員

各中学校から選出された41人が成人式の企画・運営を行いました。



高校生会も協力

準備や受付などに協力しました。





新成人の皆さんに聞きました！

常陸大宮市の好きなのところは？

- ・人々が優しく温かさを感じ安心感がある
- ・自然がたくさんあり星が綺麗に見える
- ・野菜やお米が美味しい
- ・程よく田舎でのどか
- ・土地が安い

常陸大宮市がもっと輝くために必要なことは？

- ・電車やバスなど公共交通の充実
- ・若い人向けの商業施設や飲食店の増加
- ・アーティストを呼ぶイベントなどの開催

自分の将来の目標は？

- ・起業する
- ・有名になって活躍する
- ・地元に戻ってきて働く
- ・立派な社会人、大人になる
- ・幸せになる
- ・長生きする
- ・美容師の国家資格の取得
- ・すでに保育士、ヨガインストラクターとして働いているので引き続き頑張る



平成30年に叙勲・褒章を受章された皆さん

(発令順)

◇旭日単光章



堀 弘文さん（地方自治功労）
昭和58年に山方町議会議員に当選以来、平成11年までの長きにわたり在職、その間、議長、副議長、総務常任委員会委員長等の要職を歴任され、産業の振興、住民福祉の向上、生活環境及び教育環境の充実により、定住できる活気ある豊かで住みよいまちづくりのため、多大な貢献をされました。

◇瑞宝双光章



大内 勉さん（税務行政事務功労）
昭和23年に東京財務局に奉職、主任税務相談官として関東信越国税局税務相談室（水戸分室）を平成元年に退職されるまで、長きにわたり税務行政の向上に尽力されました。特に税務相談官の業務にあつては、所得税法をはじめ数多くの法令を熟知されており、電話相談等に応じるにより申告納税制度の普及に貢献されました。

◇瑞宝双光章



川野邊 博さん（警察功労）
昭和40年に茨城県巡査に任命、大子警察署へ配属以来、警部まで昇進され、平成19年にひたちなか西警察署を退職されるまで長きにわたり警察職務に精励され、街頭での警戒活動や交通取締りなど幅広い活動により、公共の安全と治安の維持に多大な貢献をされました。

◇瑞宝単光章



岩間 宗夫さん（警察功労）
昭和40年に茨城県巡査に任命、水戸警察署に配属以来、警部補まで昇進され、平成15年に大子警察署を退職されるまで長きにわたり警察職務に精励され、街頭での警戒活動や交通取締り、困りごと相談など幅広い活動により、公共の安全と治安の維持に多大な貢献をされました。

◇瑞宝単光章



海老根 哲也さん（警察功労）
昭和44年に茨城県巡査に任命、日立警察署へ配属以来、警部まで昇進され、平成19年に大子警察署を退職されるまで長きにわたり警察職務に精励され、街頭での警戒活動や交通取締りなど幅広い活動により、公共の安全と治安の維持に多大な貢献をされました。

◇藍綬褒章



岡山 和夫さん（更生保護功労）
平成8年に保護司に就任以来、平成30年に退任されるまで、長きにわたり社会奉仕の精神をもって、罪を犯した人や非行をした少年たちの改善更生を助けるとともに、社会を明るくする運動を通して犯罪予防の啓発、地域社会の安全及び市民福祉の増進に多大な貢献をされました。

◇瑞宝小綬章



富山 薫孝さん（防衛功労）
昭和44年に海上自衛隊幹部候補生学校に入校以来、平成14年に海将補・防衛庁海上幕僚監部首席法務官を退官されるまで、長きにわたり国家防衛の重要性を認識され、常に責任感を持ち、誠実かつ積極的に職務を遂行され、国の防衛に多大な貢献をされました。

◇瑞宝双光章



澤島 一夫さん（教育功労）
昭和27年に高浜中学校（現石岡市）教諭として奉職以来、平成3年に御前山村立伊勢畑小学校長を退職されるまで長きにわたり、高邁な教育理念を掲げ、卓越した指導力と児童生徒への深い愛情を持って教育に専心され、学校教育の進展に多大な貢献をされました。

◇瑞宝双光章



河野 英夫さん（教育功労）
昭和25年に大宮町立大宮小学校教諭として奉職以来、平成3年に太子町立下野宮小学校長を退職されるまで長きにわたり、愛情あふれる情熱的な教育観で、児童育成のために多くの先駆けとなる教育実践を精力的に展開されるなど、教育の振興発展に貢献されました。

◇瑞宝双光章



相田 三美さん（郵政功労）
昭和24年に八里郵便局事務員として奉職以来、平成5年に八里郵便局長を退任されるまで長きにわたり、郵政事業が社会生活に果たす役割の重要性を深く認識され、地域住民に愛され親しまれる郵便局づくりを目指し、円滑な業務運営と郵政事業の発展に尽力されました。

◇旭日単光章



寺門 薫さん（地方自治功労）
昭和58年に大宮町議会議員に当選以来、平成11年まで長きにわたり在職、その間、議長、経済常任委員会委員長、議会運営委員会委員長等の要職を歴任され、活力ある住みよいまちづくりを目指し、ふるさと創生事業をはじめ、国県町道の整備、教育施設の充実など町政発展に尽力されました。

◇瑞宝単光章



相澤 利光さん（消防功労）
昭和46年に大宮山方地区救急事務組合の初代救急隊の一員として奉職以来、平成22年に常陸大宮市消防本部次長を退職されるまで長きにわたり、住民の生命、財産を守るため、日夜献身的に消防活動に精励されるとともに、消防運営の中核的存在として消防力の充実強化、職員の教育向上等にも尽力されました。

◇瑞宝小綬章



吉田 洋幸さん（教育功労）
茨城県職員を経て、昭和50年に県立笠間高等学校教諭として奉職以来、平成21年に県立竹園高等学校長を退任されるまで長きにわたり、確固たる信念と教育への深い情熱を持って学校経営にすばらしい手腕を発揮されるとともに、教育庁では重要な教育施策を担当されるなど、本県教育の振興全般に多大な貢献をされました。

◇旭日単光章



小橋 主典さん（スポーツ振興功労）
昭和42年から土浦日本大学高等学校レスリング競技部顧問として、40年の長きにわたり、多くの選手を育成されるとともに、平成17年からは茨城県レスリング協会副会長として競技力向上に尽力されています。また、(財)日本レスリング協会の強化委員や理事も務められ、オリンピック日本代表コーチとして日本選手のメダル獲得に多大な貢献をされました。

◇瑞宝単光章



五位 測 晴美さん（児童福祉功労）
昭和46年から大宮聖愛保育園に勤務され、平成23年に退職されるまで長きにわたり、児童福祉の現場で乳幼児の健全育成及び保育士の育成・指導、保護者支援に努められたほか、主任保育士として延長保育、障害児保育など地域の保育需要に応じた保育を先導され、児童福祉の発展に多大な貢献をされました。

1/9

新年賀詞交歓会

新春恒例の新年賀詞交歓会が、西部総合公園体育館で盛大に開催されました。はじめにアトラクションとして、第2回全国高校生花いけバトル全国大会に出場した小瀬高校生徒の皆さんによる花いけ（協力：JA常陸大宮地区枝物部会）が披露され、5分で完成した活け花に大きな拍手が贈られていました。

賀詞交歓会では、叙勲・褒章受章者への記念品贈呈、市へ寄付等をしていただいた団体や個人への感謝状の贈呈が行われました。

12/16

生田目翼選手と交流

今季のドラフト会議で北海道日本ハムファイターズから第3位指名され、入団した生田目翼投手（本市石沢出身）が自身の出身チームでもある常陸大宮リトルリーグを訪問し、子ども達とキャッチボールや質問コーナーなどで交流をしました。子ども達から「どんな練習をしていましたか」の質問に、「バッティングの練習をしていました。投げるときは、絶対に打たせないぞという気持ちで投げていました」と懐かしそうに当時を振り返っていました。最後に「1軍でデビューできるように頑張ります！」と今後の目標を話していました。



▲みんなで記念撮影

12/23

常陸大宮吹奏楽団定期演奏会

平成30年度市文化祭のフィナーレを飾る第27回定期演奏会が開催されました。日々の練習の成果を発揮した迫力ある演奏や楽しい演出に会場が一体となりました。

今回は、第二中学校出身であり日本の吹奏楽会を牽引し続ける萩谷克己さんをお迎えし、団員をはじめ市内中学生もレベルの高い専門的な指導をしていただきました。また、コーラスグループとの共演や高校生会の協力もあり、地域との架け橋になる素敵な演奏会になりました。

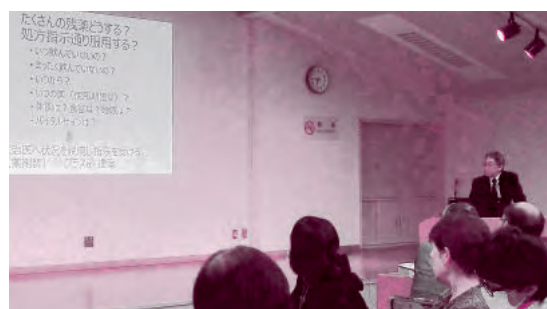


▲素晴らしい指導をいただきました

12/20

在宅医療・介護連携推進事業

おおみやコミュニティセンターで、医療職、介護職、消防職、民生委員など77人が参加し、地域ケア会議を行いました。今年度は「在宅医療と介護連携の推進」をメインテーマに、在宅医療における薬剤師の役割について、おせ薬局の鈴木康生先生の講話とグループワークを実施しました。参加者からは「薬局の薬剤師さんが自宅に訪問してくれるとは知らなかった」「錠剤をつぶして飲むことが危険だとは知らなかった」など新たな発見が多かったとの意見がありました。いただいた意見をもとに本市の政策形成につなげることを目指します。



▲鈴木先生による講話

1/5

美和地域スキー教室

美和地域スキー教室が福島県の会津高原だいらスキー場で開催されました。当日は、天候にも恵まれ、小学生を中心に38人が参加し、初心者から経験者が班に分かれ美和スキースノーボードクラブ会員によるスキー指導が行われました。また、スキーのレベルを検定するスキージュニアテストも開催され、7人の小学生がチャレンジし、全員が目標級に合格することができました。参加者は普段できない自然の中でのスキー体験を満喫していました。



▲みんなで記念撮影！

1/10・16

移動市長室

平成30年度の移動市長室を市内の県立高校2校で実施しました。移動市長室は市民の皆さんのご意見等を聞くため毎年実施しており、これまでは各地域に出向いて行ってきましたが、若者の意見を市政に反映させようと、本年度初めて高校で実施したものです。小瀬高校、常陸大宮高校では、それぞれの生徒代表から、本市の現状として良いところや足りないと思うところ、今後のまちづくりについての数多くのご意見やご質問、ご要望をいただきました。



【小瀬高校での様子】

3年生全員と2年生の1クラスの生徒が参加し、代表で3人が発言しました。「各地域にある施設をもっと整備し、SNS等を使って宣伝した方がよい」「会員制のクラブを作り会報誌などを作って宣伝してはどうか」「住みやすいが活気が無いので何か必要だと思う」「携帯電話の電波が弱いところがあるので良くして欲しい」などの意見・要望が出されました。



【常陸大宮高校での様子】

普通科、機械科、情報技術科、商業科を代表して2年生7人が出席しました。「道路をもっと整備して欲しい」「街灯が少ない」「道の駅のイベント等のアピールをもっとしたほうが良い」などの意見が出されたほか、商業科の生徒からは「常陸大宮高校の生徒が作っているブルーベリーを使った商品を市全体でPRして貰えれば」などの要望が出されました。

市民の方からまちのできごと

1/12

久慈岡フーホイ

久慈岡地区でフーホイ行事が開催されました。この行事は、地域の皆さんと一緒に小正月を楽しむことを目的に9年前に復活しました。

お正月のしめ飾りや門松などを持ちよって焼くどんど焼きと、害鳥を払う鳥追いを合わせて行われています。どんど焼きの煙が高く上るほど豊作になる、煙を懐に入れると厄払い、焼いた書初めが天高く舞い上がると文字が上手になると言われているそうです。



▲勢いよく火が燃え上がりました

1/18

まちづくり講座

まちづくり講座メニューの1つである、高齢者を狙う悪質商法と対処法が、山方公民館西野内分館で行われました。茨城県消費者教育講師の松本由美子さんが、実際に起こりうる悪質商法を受講者と役を演じながら疑似体験を行い、対処法について説明していました。受講者からは「大変参考になった」「今後気を付けていきたい」という声が多く聞かれました。まちづくり講座は、市職員等が市内の公民館や集会施設などに出向き開催します。受講料も無料です。是非ご活用ください。



▲熱心に聞き入る皆さん

第65回文化財防火デー

毎年1月26日は文化財防火デーです。

昭和24年1月26日、法隆寺金堂の壁画が焼損する火災が起きました。これを機に火災があった1月26日が文化財防火デーと定められました。そして毎年この日の前後に全国的な文化財防火運動が展開されています。

本市でも、1月23日に上岩瀬の誕生寺で消防訓練を行いました。お寺関係者、隣接するさくら保育園、東消防署、教育委員会の合同訓練となりました。

誕生寺は、浄土宗中興の祖である了譽聖阿上人の誕生の地です。寺宝として了譽聖阿上人像が2体あり、うち1体が市の指定文化財となっています。聖阿上人は全国的にも広く知られた名僧で、今年は上人の600回忌ということもあり、誕生寺はもちろん各地で法要が予定されています。

このような地域にとってとても大切なお寺を災害から守るため、住職や檀家の皆さんがバケツリレーの練習や文化財を運び出す訓練、消火器の取扱訓練等、力を合わせて行いました。消防による神社への放水訓練も行われ、迫力のある放水に歓声が上がっていました。



◀文化財も避難訓練



みんなでバケツリレー▶



▲消火器の使い方を確認

また、1月24・25日には、教育委員会と消防署が合同で市内40か所の文化財所有・管理者を訪問し、消防設備の点検や防災指導を実施しました。

火災は、数百年もの間地域で守られてきた宝を一瞬で奪ってしまいます。今回の訓練や設備点検は、身近にある貴重な文化財の存在を再確認し、もしもの時にも対応できるように備える機会となりました。皆さんの身近にも多くの貴重な文化財があります。国民共通の貴重な財産を火災等から守るため、今後も市民の皆さんのご協力をよろしくお願いします。



▲上人坐像

了譽聖阿上人
りょう よう しょうげい しょうにん

～額に二十六夜の三日月形のある伝説の僧～

了譽聖阿上人。“六夜尊(ロクヤサン)”のこと、と聞いて納得される方は、少ないかもしれませんが、最も世間に影響を与えた本市ゆかりの人物、と言っても過言ではありません。

現在、上岩瀬の誕生寺が建つ地には、かつて上岩瀬城があり、聖阿上人はその城主白石氏の子として南北朝時代の1341年に生まれました。父の死によって家が没落し、8歳で出家。たぐいまれな能力と驚異的な向学心で、仏教のみならず様々な学問を修めます。

当時浄土宗は、法然の死後に諸派が林立し、独立した一宗としての地位を確立していませんでしたが、聖阿上人が浄土教義を整備し地位向上を実現したことで、浄土宗教団の地位を確立することができました。上人が浄土宗中興の祖と言われる所以です。

偉大な功績によって神格化された聖阿上人には、多くの伝説が残されています。中でも有名なものが、額にある三日月形の相から放った光で書物を照らし、闇夜でも勉強に励んだとされる話です。誕生寺の上人像の額にも三日月が表現されています。

また、有名な怪談「番町皿屋敷」には、お菊の霊を鎮める僧として聖阿上人が登場。それほどに上人は人々に慕われた高僧の代表でしたが、江戸時代中期以降の教団で聖阿教学見直しの風潮がおこり、時代とともに忘れられていきました。しかし、宗教界のみならず、人々の信仰に大きな影響を与えた了譽聖阿上人の功績は大きく、上人が没した1420年からちょうど600年にあたる本年、郷土の偉人として、その功績を知っていただく機会となればと思います。

1/26

お宝発見

市のお宝発見事業第5回を、22人の参加のもと実施しました。

午前は「塩田そばの会」の皆さんにご協力いただき、市内で生産されている常陸秋そばのそば粉を使ってそば打ちを体験しました。最初に講師の方のそば打ち実演を見学し、その後、2～3人のグループに分かれて実際にそば打ちを行いました。



午後は御前山ダムに向かい、ダム関係者の方からダムの仕組みについての説明を受けた後、実際にダム内部に入り見学を行いました。普段な

かなか見られない光景に驚いている様子がうかがえました。

今回も参加者たちは、周りの仲間やボランティアの茨城大学生と協力して、市内の誇れるものを学ぶことができました。

ボランティアの声



私は今回お宝発見事業に初めて参加しました。子どもと一緒に楽しく常陸大宮市の名物、名所について学ぶことができ、非常に有意義な時間となりました。機会があればまた是非参加したいです。

茨城大学2年 子どもふれあい隊 黒畑 晴喜



みんなのスポーツ・エクササイズ⑩



ノルディックウォーキングの二の腕引き締め効果に期待！

ノルディックウォーキングは、近年国内で人気が高まりつつあるエクササイズスポーツで、2本のポール（ストック）を使って歩行運動を補助し、運動効果をより増強することが特徴です。もとは、クロスカントリーの選手が、夏の間の体力維持・強化トレーニングとして、ストックと靴で積雪のない山野を歩き回ったのが始まりと言われています。

本市内では、ノルディックウォーキング練習会（スポーツクラブひたまる25）が月2回のペースで開催されています。

参加者からは、「ポールを使うことで膝への負担が軽減され、長い距離をウォーキングできる」「ポールを使うことで二の腕（上腕二頭筋）の筋肉が鍛えられ、腕が引き締まる効果が期待できそう」などの声が寄せられています。

用具も初心者向けのものは低価格で購入できるため、気軽に始めることができます。ぜひ挑戦してみてください。



<ノルディックウォーキング練習会情報>

皆さんの参加をお待ちしています。

期 日：3月2日（土）、3月16日（土）

時 間：午前9時（2時間程度）

場 所：大宮運動公園駐車場集合

参加料：無料

その他：ポール、汗拭きタオル、飲み物をご持参ください（ポール貸出しあり）。



■問い合わせ■

スポーツクラブひたまる25 ☎55 - 9666 FAX 55 - 9667
（電話対応時間：火曜・金曜 午後1時～午後5時）

第20回 山方宿若あゆ駅伝大会

開催日：12月23日（日）

主催：山方体育協会（木村則義会長）

コース：山方宿通り（山方支所前～JR山方宿駅ロータリーの折り返し）

参加チーム：低学年の部8チーム、高学年の部13チーム

この大会は、山方宿の年末の恒例行事になっていて、普段は人通りも少ない山方宿通りもこの日は大変にぎわい、沿道には大勢の応援の方々が駆けつけました。また、食生活改善推進員連絡協議会山方支部の皆さんによる豚汁のサービスもあり、暖かく盛り上げてくれました。閉会式前には、20回記念としてパフォーマーの林英明さんによるバルーンアートが行われ、風船のプレゼントに選手たちは大喜びでした。



《低学年の部：小学1年～3年》

（敬称略）

優勝 山方南小3年（桜井 陸、鹿島夕愛、柏 一輝、吉村青波、藤来 翔、海老根花乃）
 準優勝 ミラクルキッズ（猿田稀陵、堀江優都、倉橋大虎、藤田 陽、石井琉大、増子 彩）
 第3位 ヤマガタキッズ（齋藤徠毅、川村嶺旺、青砥璃空、高林怜太郎、柏 銀志、井上湛太）

区間賞	1区	2区	3区	4区	5区	6区
女子		鹿島 夕愛	西村 心結	藤田 陽	宇留野花音	海老根花乃
男子	桜井 陸	堀江 優都	柏 一輝	濱野 壮真	藤来 翔	秋本 一翔

《高学年の部：小学4年～6年》

（敬称略）

優勝 DRAGON FIVE（矢板真生、茅根優樹、橋本龍征、鈴木 凜、瀧 陽輝）
 準優勝 南風ドリーム5（川井杏夏、海老根嘉斗、金子陽奈乃、木村光汰、鈴木敬也）
 第3位 公衆電話（前田一牙、大森悠貴、木村魁秀、三次徠夢、坪 拓未）

区間賞	1区	2区	3区	4区	5区
女子	會澤 心菜	石井麗乙女	太田 千咲	鈴木 凜	高村 稜花
男子	鈴木 康介	海老根嘉斗	橋本 龍征	坪 瑛太	木村 祐介



▲低学年の部優勝「山方南小3年」



▲高学年の部優勝「DRAGON FIVE」

約1,800人
が参加!!

第8回常陸大宮クロスカントリー大会兼 みんなで楽しくグリーンウォーキング

1月20日、水戸グリーンカントリークラブ山方コースで、常陸大宮クロスカントリー大会兼みんなで楽しくグリーンウォーキングが開催されました。ゲストラナーとして、今井正人選手、渋井陽子選手などが参加し大会を盛り上げました。

また、競技の合間には、川崎真裕美選手によるウォーキング特別教室も開催され、一流アスリートから指導を受けながら共に楽しいひとときを過ごしました。



▲青山学院大学の永井拓真選手と



▲ウォーキング特別教室の様子

《部門別の結果》

(敬称略)

種目	部門	1 位	2 位	3 位
1000m	小学男子（3年以下）	佐藤 凌誠	滝田 琉斗	高島 夕海
	小学女子（3年以下）	小林 玲	滝田 凜彩	黒羽 柚妃
2000m	小学男子（4年以上）	三瓶 友也	生天目 温	木村 駿太
	小学女子（4年以上）	圓谷 仁渚	佐藤 舞歩	長島 彩音
	中学男子	谷中 義東	石井 一成	大瀧 圭佑
	中学女子	鈴木 綾乃	中野 風夏	関 葵
4000m	中学男子	小松 裕大朗	吉田 翔真	溝井 正貴
	中学女子	長島 結衣	安藤 悠乃	真船 ころろ
	高校男子	阿部 宏彦	橋本 涼	峯島 璃乙
	高校女子	矢内 楓恋	片根 菜緒	名越 美帆
	一般男子（18歳以上）	兼子 卓也	沢田 恋白	塩澤 裕也
	一般女子（18歳以上）	平野 綾子	小野 美香	大場 芽衣
	一般男子（40歳以上）	高橋 玄洋	堀江 裕也	本間 洋行
	一般女子（40歳以上）	稲石 里美	長岡 真由美	小貫 尚美
6000m	高校男子	倉田 蓮	菊池 竜馬	中田 侑希
	高校女子	風間 歩佳	山崎 りさ	保科 琴音
	一般男子（18歳以上）	蛭田 雄大	佐藤 征昭	清水 雅人
	一般女子（18歳以上）	木戸 美帆	大木 由佳	室越 友美
	一般男子（40歳以上）	吉岡 修	寄川 盛男	大滝 学
	一般女子（40歳以上）	高橋 雅子	今野 祥子	吉田 道子

【オリンピック交流事業】 少年少女夢つなぐ野球教室 シドニー 2000 オリンピック
野球競技日本代表 本市出身のオリンピック野上修さんと子どもたちが交流をしました！



野上 修 氏プロフィール

【本市出身：常陸大宮大使】

大宮西小学校→大宮中学校→水戸商業高等学校
→明治大学→日本生命

○高校時代 第64回選抜甲子園出場

○明治大学時代

東京六大学リーグで3度のベストナイン

○日本生命時代

都市対抗野球、社会人野球日本選手権で2度
の優秀選手

○シドニー 2000オリンピック野球競技日本代表

ホストタウン交流計画の一環として、将来を担う子どもたちがオリンピックと直にふれあうことで未来への夢や希望を抱き、スポーツに対する関心などを深めるとともに東京2020大会の機運を醸成する目的で、野球日本代表として2000年シドニーオリンピックに出場した本市出身の野上修さんを招いた野球教室を大宮運動公園市民球場で開催し、小学1年生から6年生までの児童116人と野球による交流をしました。

はじめに、背番号「9」の日本代表ユニフォームを着た野上さんとストレッチやランニングなどの準備運動をした後、野球の実技指導が行われました。キャッチボールでは「相手を取りやすい顔の正面をめぐって投げる」また、守備練習では「グローブに入ったボールを利き手でつかむまでの速さを意識し次の動作につなげることが大切」と野上さんからアドバイスがありました。

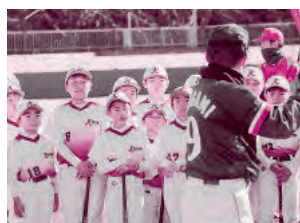
打撃練習では「構え方は自由で個性があっていい。ただし、バットを持つ高さは、傘を広げて持つ位置が理想で、ボールに当てるまでの距離は最短」など具体的な動作も学びました。子どもたちの代表16人と野上さんのホームラン競争では、みんなからの応援を背に、野上さんの指導を实践しながらバットを振っていました。



▲準備運動も一緒に



▲投げる練習



▲打撃練習



▲ホームラン競争



▲講演会の様子



最後に行われた講演会では、小学生の頃の話で「学校から帰るとすぐ近所の凸凹のある空き地で堀にボールを当てては、グローブでキャッチする練習を毎日遅くなるまで繰り返していた」ことや大宮中学校・高校・大学・社会人時代の野球にまつわるエピソードのほか、シドニーオリンピック日本代表に選ばれた時の気持ちや出場した感想などを分かりやすく丁寧な言葉で話しました。野上さんは、「家族や周りの方々に支えてもらいながら野球をやり続けていたからこそ、オリンピックに出た今の自分がある。とにかく野球を楽しく、できる限り長く続けてあきらめず頑張ってほしい。そして、今日参加したみんなの中からオリンピックに出場する選手が出てくれればとても嬉しい。」とのメッセージを子どもたちに伝えました。

参加した子どもたちは、「基本を見直すことができ、中学校の野球部にもつなげていきたい」「今日野上さんと野球をしてもっと野球が好きになった」「野上さんのようにオリンピック選手になれるよう頑張りたい」と話していました。

■問い合わせ■

政策審議室 企画政策課 東京オリパラ推進室
☎52-1111 (内線309)

いきいき茨城ゆめ国体2019



第74回国民体育大会

翔べ 羽ばたけ そして未来へ

〇いよいよ今年は茨城国体！

今年は、第74回国民体育大会（いきいき茨城ゆめ国体）が開催されます。本市は、なぎなた競技の会場となります。選手や監督、観覧者と一緒に、感動と喜びを共有できる国体を目指して、市民の皆さんで盛り上げましょう。

観戦しよう

第74回国民体育大会（いきいき茨城ゆめ国体）

なぎなた競技会

会期：2019年9月29日（日）～10月1日（火）

会場：西部総合公園体育館

種別：少年女子・成年女子

参加しよう

市国体ボランティア募集

市実行委員会では、「第74回国民体育大会なぎなた競技会」の大会準備や運営等にご支援・ご協力いただけるボランティアを募集しています。

募集要件▶本市在住又は、在勤されている15歳以上の個人、もしくは市内を拠点に活動している団体に限る。

活動内容▶ドリンク配布、弁当配布、受付・案内、環境美化 等

募集締切▶2019年4月30日（火）まで

HP「常陸大宮市 国体ボランティア」で検索

問 いきいき茨城ゆめ国体常陸大宮市実行委員会
（文化スポーツ課国体準備室内） ☎53 - 6501

いばラッキー募金

5千円以上の寄付をされた方には、記念品（オリジナルタオルとピンバッジ）をプレゼント中！

募金の使途▶「いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会」の運営費用

募 金 方 法▶県内の主な金融機関に専用の振込依頼書を用意しています。詳細はホームページをご覧ください。

受 付 期 間▶2019年10月31日（木）まで

HP「いばラッキー募金」で検索

問 茨城県国体・障害者スポーツ大会局
総務企画課 ☎029 - 301 - 5405

いばラッキーがゆく～国体PR作戦～

11/11



市スポーツ少年団駅伝競走で小学生ランナーを応援しました。

12/3



かがやきまつりで、来場者と触れ合い国体をPRしました。

1/9



賀詞交歓会で、出席された皆さんをお迎えし国体をPRしました。

1/20



常陸大宮クロスカントリー大会で、開会式に参加し、選手にエールを送りました。また、ゲストランナーの皆さんと記念撮影をしました。

■問い合わせ■

いきいき茨城ゆめ国体常陸大宮市実行委員会事務局
（常陸大宮市教育委員会文化スポーツ課国体準備室内）
☎53 - 6501 FAX 53 - 6502

地域一体となって学校を支援しています

〈常陸大宮市学校支援地域本部事業〉

現在、学校教育では多様な課題を抱えており、地域が様々な形で学校を支援していくことが求められています。そこで、地域の皆さんがボランティアで学校を支援し、学校、家庭、地域が一体となって地域ぐるみで子育てをする体制の構築を進めています。地域の皆さんのご協力により、ボランティア登録数も増えてきました。現在のところ、山方中学校区は112人、明峰中学校区は128人、第二中学校区は50人です。また、34団体も登録にご協力いただいています。来年度は大宮中学校区に広げていく予定です。

ボランティアの皆さんの活動の一端を紹介します。これまでの経験を生かした、昔遊びや伝統楽器演奏、伝統料理作りなどの体験学習や、菊栽培、サツマイモ栽培、米作りなど農業について教えていただき、地域の良さを知り、地域の方との交流につながっています。

また、授業の支援では、書写指導、ミシン縫いの補助、水泳や陸上の指導、合唱や楽器の演奏指導などもしていただき、授業内容が充実しています。読み聞かせも定期的に行われ、子どもたちは楽しみにしています。環境整備でも、除草作業、花苗植え、庭木の剪定、図書の整理などの作業で、学校環境が良くなりました。学校支援ボランティアをとおして学校と地域とのつながりが深まり、子どもたちがより充実した環境の中で学校生活を送ることができています。

学校支援ボランティア を随時募集しています

空いた時間などに気軽にお手伝いしてくださる方、子ども達と一緒に活動をしたい方、ぜひご協力をお願いします。

山方中学校区



▲除草作業(山方中)



▲読み聞かせ(山方小)



▲箏演奏体験(山方南小)

明峰中学校区



▲ピアノ伴奏の指導(明峰中)



▲昔遊び:あやとり(美和小)



▲書写の指導(緒川小)

第二中学校区



▲図書の整理(第二中)



▲米作り体験(村田小)



▲葉ボタン植え(上野小)

■問い合わせ■ 生涯学習課 生涯学習グループ ☎52-1111 (内線334)

地域おこし協力隊 がゆく



松原枝里です。冬仕事のひとつであるえびら（竹かご）作りは11月～2月の間に行います。この冬も早速えびらを作り、鹿児島へ里帰りした際にお世話になった方へプレゼントしてきました。協力隊として常陸大宮へ越えてきて3年目になり、まだまだ未熟ではあるもののこうして自分で作ったえびらを贈ることが、この地で頑張ってきたことの報告にもなっているのかなと感じています。

さて、協力隊の任期も残り1ヶ月となりました。これまでの活動を通して強く魅力を感じた昔ながらの手仕事を、今後は自分の生業としていけるように挑戦を続けていきたいと思っています。

えびら教室の開催はまだ2年目ですが、えびらを通してたくさんの方との繋がりができ、少しずつ手応えも感じています。これからは教室開催だけではなく自分の作ったえびらを作品として販売していき、地域に残る手仕事と自然の中で生活をつくってきた先人の偉大さを伝えていきたいと思っています。

ひたまる先生を紹介します vol.17



▲おはなし会「はみんぐばあど」の皆さん

おはなし会「はみんぐばあど」です。私たちは、主に子どもに対して、読み聞かせや人形劇等のおはなし会を開催しています。グループの創立は、活動拠点の市立図書館の開館と同時平成7年で、今年で24年となります。小学校・保育園・幼稚園・子育て支援そして時々高齢者施設でのおはなし会を、対象者の年齢・人数・環境の違いにより、内容を考えて行っています。自分達でコツコツと手作りしてきた影絵やペープサート、人形劇や大型紙芝居などのレパートリーも増え、図書館の本も利用して、子どもたちに楽しいひとときを過ごしてもらいたいと活動しています。大道具小道具をたずさえて、どこへでも出張して、自分たちも楽しみながら、笑顔でおはなし会をやっています。

■問い合わせ ■ ☎52 - 3212



▲中崎溪翠さん

書道の中崎溪翠です。保育園児から大人まで、硬筆・ペン字・毛筆の指導をしています。ワープロやパソコンで、簡単に文字のくずしやデザインとしての文字が出来てしまう昨今、想いの伝わる手書き文字の大切さ、

美しさを再認識してみませんか？字を上手く書くコツ、生活に役立つ美文字セミナー等も開催します。

また、書道パフォーマンスも行っています。テーマを決め、書の基本であるリズム、緩急を大切に迫力ある書道パフォーマンスを披露しています。

各学校、団体にも指導しますので、是非一度ご覧になり、挑戦してみたいはいかがでしょうか？

■問い合わせ ■ ☎52 - 5318

公民館調査が始まりました

私たち民俗部会は、市民の皆さんの所に直接出かけて行って、たくさんの祭礼や行事を見せていただいたり、昔からの生活の様子に関するお話を聞かせていただいています。

夏の祇園祭や秋の例祭・新嘗祭、お正月のオカザリ(マユダマ)作りやワーホイの行事など印象に残る行事を間近で拝見させていただきました。なかでも、七月に行われた北野・五所神社(常陸大宮市小倉地区)の祇園祭は迫力のあるものでした。ベテランと若者が協力して、神輿を山上の神社から人々の住む平坦な里に降ろす様子には感激しました。指揮をした青年長が、急峻な階段を降ろし終えた瞬間に見せた安堵と達成感に満ちた表情は忘れられません。

また、今年7月に開催予定の鷺子の夏祭り(祇園祭)については、昨年の準備会議から取材させていただいています。現代は日本中の多くの地域で、伝統行事の存続に課題を抱える時代ですが、ここでの準備会議には若い方が多数参加され、伝統を守りながら円滑な行事運営をめざす改善案や山車の安全な活用法などについて、活発な議論がなされています。



▲小倉の祇園祭



小正月の「オカザリ」展示(歴史館)

民俗部会長 大津 忠男 氏
(茨城県立歴史館首席学芸員)

“長老の意見を聞きながら、実践では若者が活躍する”という集落の運営意識が実践されていて、その真剣な姿に感銘を受けます。今から、本番が楽しみです。しっかりと取材し、市史に記録を残したいと考えています。

さらに、昨年から地域の公民館での合同の聞き取り調査会(公民館調査)を実施しています。常陸大宮は自然豊かな地域ですが、それぞれの環境のなかで実際に経験されてきた生活の様子を教えていただいています。長田地区の溜池を利用した稲作や、諸沢・北富田地区の炭焼きや、コンニャクやタバコの栽培などについてのお話を直に聞くことができます。昨年は、旧山方町の二つの地区で実施させていただきましたが、これから順次他の地域でも実施する予定でありますので、その際には是非気軽にいろいろなお話をお聞かせください。よろしくお願いいたします。



■問い合わせ■

文化スポーツ課

文化・スポーツグループ ☎52-1111 (内線344)

かがやきだより vol.12

私たちの体は食べたもので作られます！

1 目に必要な食品量の目安を知ろう！

☆下表の「1日のバランス食基準量」の食品を毎日食べることで、健康を保つために必要な栄養を摂ることができます。

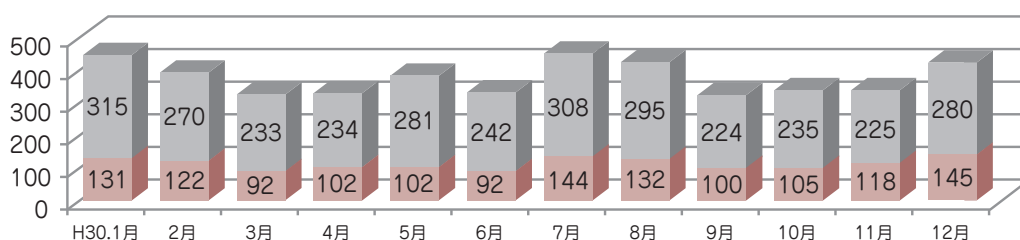
1日のバランス食基準量（成人）			
食品群		重量	食品例
1 群	牛乳・乳製品 	200g	普通牛乳 コップ1杯
	卵 	50g	Mサイズ1個
2 群	魚介類 	50g	生鮭1/2切れ
	肉類 	50g	豚もも肉 薄切り2枚
	豆・大豆製品 	100g(豆腐で)	豆腐1/4丁
3 群	 緑黄色野菜 	150g	人参 小1/2本 ほうれん草 5～6株 トマト 1/2個 (50g)
	 淡色野菜 	250g	大根 厚切り1切れ、キャベツ 1枚 玉ねぎ 1/4個、白菜 大1枚
	 芋類 	100g	じゃが芋 中1個
	 果物類 	80kcal分	みかん M2個
	 きのこと類 	50g	えのき 1/2パック
	 海藻類 	50g(高血圧は30g)	乾燥ひじき 小さじ1
4 群	 砂糖類 	年齢・性別・体重・活動量によって変わります。 詳しくは市の栄養士までご相談ください。	
	 油脂類 		
	 穀類 		

■問い合わせ■ 健康推進課 ☎54-7121

※救急受け入れの人数を
月別に表しています。
(休日・時間外を含む)

常陸大宮済生会病院救急患者受入状況

■救急車以外
■救急車



～インターネット等で取引される情報商材のトラブルにご注意ください～

「高額収入を得る方法を教えると強調された広告等を見て連絡をしたところ、高額な契約をすれば副業や投資等で儲かることができるノウハウを教えると勧誘されたが、実際は説明と異なり儲からない」という苦情が寄せられています。

〈情報商材とは〉

インターネットの通信販売等で、副業、投資やギャンブル等で高額収入を得るためのノウハウ等と称して販売されている情報のことで、電子媒体の形式で多く取引され、スマートフォンやパソコンなどでダウンロードして閲覧することができます。情報商材そのものだけでなく、高額なコンサルティングやビジネスセミナー、ソフトウェアを契約させられるケースもあり、契約書にもアフィリエイト、ビジネスサポート、コンサルティング、業務委託等の名称が用いられることがあります。

〈問題点〉

- ・簡単に高額収入を得られることを強調する広告・宣伝。
- ・次々に契約を迫る等の強引な勧誘。
- ・クレジット契約や借金をさせてまで高額な契約を結ばせる。
- ・広告・説明と異なり儲からない、サポートや返金保証がない。

〈消費者へアドバイス〉

- ・情報商材は契約前に中身を確認することができないので怪しいと思ったら連絡しない。
- ・高額な契約を勧誘されたり、話が違うと思ったらきっぱりと断る。
- ・クレジットカードでの高額決済や借金をしてまで契約しない。

■問い合わせ■

茨城県消費生活センター

☎ 029 - 225 - 6445

常陸大宮市消費生活センター

☎ 0295 - 52 - 2185

(商工観光課内)

※月・水・金曜日は消費生活相談員が対応します。

市民の方から情報提供がありました！

下檜沢在住の相澤さんが種から育てた大根（冬しぐれ）が、見事に三つ編みのような形に成長しました。長さは約30cm。相澤さんは、4種類の大根を育てていますが、このような大根になったのは初めてとのことで、地元の神社に奉納したそうです。



VOL.56

職員のつぶやき ～職員リレートーク～



▲左から猿田さん、小磯さん、蓮田さん

学校教育課の小磯朱子です。私は小中学生の就学に関する事務を担当しています。業務を行ううえで分からないことも多く、はじめは不安でいっぱいでした。しかし、先輩方が丁寧に教えてくださり不安がなくなり、今では充実した毎日を過ごしています。早く一人前の職員となれるよう努めてまいりますので、よろしくお願いします。

美和幼稚園の猿田彩夏です。私は自然豊かな環境の中で、温かい先輩と地域や保護者の方々、大好きな園児たちと共に日々の保育をしています。毎日の遊びを通し、楽しさや喜び、時には悔しさを味わいながら成長している子どもたちと一緒に充実した日々を過ごしています。今後も教諭としての自覚をしっかりともち、幼児や保護者、地域の方々に寄り添いながら信頼される教諭になれるよう努力していきたいです。

図書館の蓮田未来です。私はカウンター業務をはじめ、図書館相互貸借の受付等を担当しています。最近では任される仕事が増え、責任も大きくなってきましたが、日々やりがいを感じながら取り組んでいます。

市民の皆さんにとって図書館および常陸大宮市がより居心地の良い場所となるよう努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。



幻の駅と幻の鉄道計画

平成28年8月号のふるさと見て歩きで水郡線誕生の概要についてご紹介しましたが、今回は水郡線にかつて存在した駅と幻に終わってしまった鉄道計画についてご紹介します。

【消えた常陸村田駅】

現在運行されているJR水郡線はご存知のとおり茨城県水戸市と福島県郡山市を結ぶ計45駅の鉄道路線です。市内には常陸大宮、玉川村、野上原、山方宿、中舟生、下小川の6駅があります。

今から80余年前の昭和10年、旧那珂郡静村に常陸村田駅が開設されました。当時の水郡線は水戸から郡山までの全面開通を目前に、発着本数の増加を目指し、水戸ー太田、水戸ー大宮間でガソリンカーを採用しました。

これは水郡線に平行して走る道路を使った乗合バスの進出が理由のようです。ガソリンカーはそれまでの蒸気機関車が牽引する列車よりも停車や発車が簡単であったので、すでに開設してあった駅の間に専用の停留所を作って利便性を高め、運行本数を増やすことで乗合バスに対抗しようとしたものです。そして新しく設けられたガソリンカー専用停留所のひとつが常陸村田駅だったのです。



▲常陸村田駅があった下村田地区を走る水郡線のディーゼルカー

しかし、常陸村田駅が利用されていたのは10年足らずの期間でしかありませんでした。

全国に普及したガソリンカーに不可欠なガソリンは、戦時下になると利用規制がされるようになります。ガソリンカーの活用は減っていき、昭和20年8月の終戦直前には運行困難となります。それは水郡線も例外ではなく、専用停留所としての役割を失った常陸村田駅は廃止されることとなりました。ガソリンカーが軽油を燃料とするディーゼルカーへと姿を変え、蒸気機関車に代わって水郡線を走る姿が見られるようになるのは、終戦から15年以上を経た昭和36年以降です。



▲旧国鉄の境界杭（右から茂木町、市内野田地区、同）

【幻となった国鉄長倉線】

大正時代に公布された改正鉄道敷設法の別表第38号に「茨城県水戸ヨリ阿野沢ヲ経テ東野附近ニ至ル鉄道及阿野沢ヨリ分岐シテ栃木県茂木ニ至ル鉄道」という記述があります。上記の「阿野沢」とは現城里町阿野沢、「東野附近」とは現在の玉川村駅付近だと考えられます。つまり、那珂川を渡って水郡線に繋がる線路と、茂木に繋がる線路ができていた可能性があるのです。当時水戸から伸びていた茨城鉄道茨城線（通称御前山線）を御前山駅から長倉まで、真岡鐵道真岡線を茂木駅から長倉まで、双方から延長することで繋がる予定でした。

この計画はかなり具体的に進んでいたらしく、茨城鉄道では道中の鉄道敷設免許状が下付され、真岡鐵道ではすでに敷設の準備が始まっており、現在でも茂木町内にはその軌道跡を見ることができます。

しかし、この計画も戦時下の物資不足により那珂川を渡る架橋を作ることができずに頓挫してしまいます。茨城線も1966（昭和41）年を皮切りに徐々に営業区間の廃止が進められ1971（昭和46）年に全線廃線となり、国鉄長倉線計画は実現しませんでした。

長倉線が開通していたら、今頃、市内の那珂川沿いはどうなっていたのでしょうか。久慈川沿いの水郡線と同じように、汽車が那珂川沿いを走る風景を見たかったと思うのは私だけではないはずです。



▲茂木町内に残る長倉線の軌道跡

■問い合わせ■

文化スポーツ課

文化・スポーツグループ ☎52-1111（内線344）



平成30年常陸大宮市の 火災・救急・救助の概要

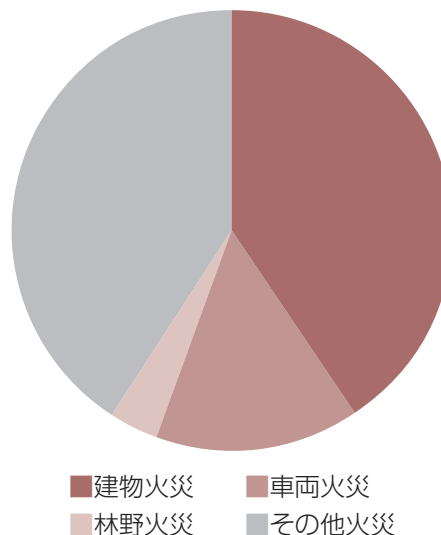
市内で発生した火災・救急・救助の概要をお知らせします。

火災発生状況

▲はマイナス

区 分		平成30年	前年比
火災 件数	建物火災	11件	▲ 2 件
	車両火災	4 件	2 件
	林野火災	1 件	▲ 1 件
	その他火災	11件	3 件
	合 計	27件	2 件
損害額		682,821千円	571,714千円
建物焼損面積		2004,00㎡	344,91㎡
死 者		1 人	▲ 1 人
負傷者		5 人	0 人
り 災	世 帯	9 世帯	3 世帯
	人 員	17人	▲ 3 人

種別の割合



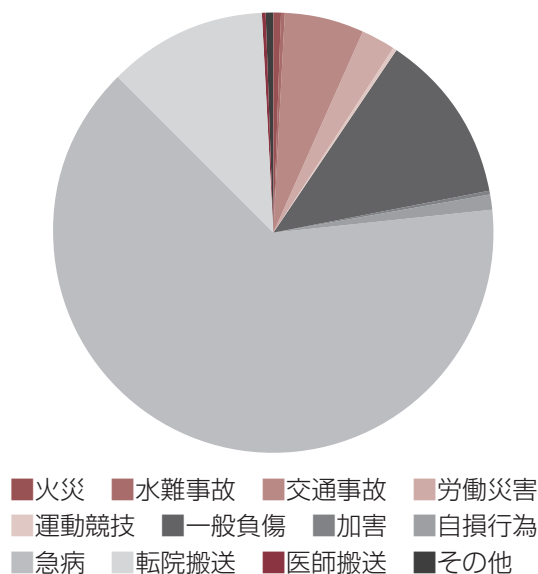
※死傷者、り災人員の数は減少していますが、損害額は5億7千万円を越すほど大幅に増加しています。

救急発生状況

▲はマイナス

区 分	平成27年	前年比
出場件数	2,117件	77件
搬送人員	2,018人	78人
火 災	16件	4 件
自然災害	0 件	0 件
水難事故	2 件	▲ 3 件
交通事故	127件	▲22件
労働災害	54件	19件
運動競技	4 件	▲ 4 件
一般負傷	265件	▲10件
加 害	7 件	4 件
自損行為	24件	8 件
急 病	1,362件	77件
転院搬送	248件	0 件
医師搬送	1 件	▲ 2 件
その他	7 件	6 件

種別の割合



※毎年、出場件数および搬送人員は増加傾向にありますが、種別に分けると交通事故が前年に比べ22件減少しています。

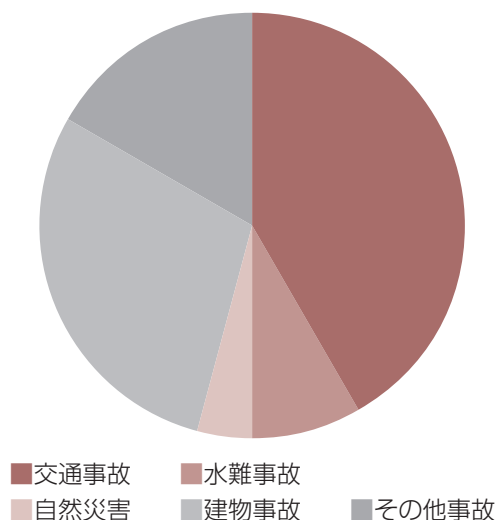
■問い合わせ ■ 消防本部 ☎54 - 0119

救助発生状況

▲はマイナス

区 分	平成30年	前年比
出場件数	23件	7件
火 災	0件	0件
交通事故	10件	3件
水難事故	2件	1件
自然災害	1件	0件
機械事故	0件	▲1件
建物事故	7件	6件
ガス酸欠事故	0件	0件
爆発事故	0件	0件
その他事故	4件	▲2件

種別の割合



※機械事故、その他事故が減少していますが、全体的に増加傾向にあります。

平成31年常陸大宮市消防出初式が開催されました！

1月13日、消防広場で平成31年出初式が開催されました。各分団の消防車55台が集結し、消防団員908人及び消防職員30人のほか、来賓など総勢1044人が参加。閉会后、会場周辺を上空偵察していた茨城県防災航空隊が会場に降り立ち、三次市長と岡山消防団長に偵察の報告をしました。



進めよう！多文化共生社会



氏 名 菊池
マリアテレサ・モス
住 所 野上
出身国 フィリピン
家族構成 夫・長男
市内在住歴 20年
仕 事 ブラスチック粉碎
趣味・特技 手芸
好きな食べ物 味噌ラーメン、うどん

歌を聞いたり歌ったりすると自然と体も動きだしてしまうぐらい、音楽が大好きです。母国では教会のゴスペルをやっていて、英語・タガログ語を問わずたくさんの歌を歌いました。カラオケでは松田聖子さんの歌が得意です。歌を歌うと気分転換になります。

日常生活では、近所や地域の皆さんとのつながりを大切にしています。普段の挨拶をしっかりすることや子どもが小学生の時は地区の行事などに積極的に参加していました。おかげで、長男は誰にでも挨拶ができる素直な子に成長しました。とても嬉しく思います。

私は息抜きに公園に行って好きな手芸などをします。母国の実家の近くにも大きな公園があり、子どもから大人までピクニックのように楽しんでいます。美しい四季を感じられる常陸大宮市で、大人がリラックスしたり子どもが思い切り遊べる場所がもっと増えたらいいなと思います。

ひたまるがゆく

1月20日に水戸グリーンカントリークラブ山方コースで開催された「第8回常陸大宮クロスカントリー大会兼みんなで楽しくグリーンウォーキング」に参加したひたまる。市内外よりお子さんからお年寄りまで、幅広い年齢層の方が会場を訪れました。参加者は、2000mのグリーンウォーキングで家族で楽しく歩いたり、最大6000mのクロスカントリーを爽快に走っていました。ひたまるはスタート時にランナーの皆さんのお見送りやゴールした人と記念撮影するなどして、クロスカントリーを通してゲストランナーや参加者と交流しました！



▲左から今井正人選手、市川華菜選手、川崎真裕美選手

御前山ピオトープ周辺の植物等

明治の中頃に渡来したヨーロッパ原産の外来植物です。土手や道端などに生育し全国に分布を広げています。茎は四角形で、葉は対になってつき、卵形で縁には鈍いギザギザがあります。茎の上の方につく葉は密集してつき、赤紫色を帯びます。4～5月頃、茎の上部の葉の付け根に長さ約1cmの淡紅色の花を密につけます。種子の端にはアリの好む物質がついていて、アリによって運ばれ生育地を広げています。



(シソ科オドリコソウ属)
(写真・データ提供 御前山ダム環境センター)

いきいき茨城ゆめ国体なぎなた競技会

2019年9月29日(日)～

10月1日(火)

西部総合公園体育館



常陸大宮市の人口

(2月1日現在・推定常住者)

総人口 40,489人 世帯数 16,071世帯
(男 19,958人 女 20,531人)

広報 常陸大宮 2月 第173号

発行日 平成31年2月25日

発行/常陸大宮市 編集/秘書広聴課

〒319-2292 茨城県常陸大宮市中富町3135-6

TEL 0295(52)1111 FAX 0295(53)6010

E-mail hishokou@city.hitachiomiya.lg.jp

URL <http://www.city.hitachiomiya.lg.jp/>



再生紙と植物油インクを使用しています。